

# つながり

2022年  
春号  
vol.13

自由にお持ちください



医療法人悠紀会  
医療法人 悠紀会病院



## CONTENTS

- 2 院長挨拶、新任・病棟師長紹介
- 3 医療療養病棟への転換のお知らせ
- 4 令和3年度 入職者のご紹介
- 5 医療法人悠紀会からのお知らせ

**基本理念** 皆さまの健康で豊かな生活を支えるために、信頼される真心のサービスを提供します。

**基本方針**

- 1、社会的役割・・・信頼される医療サービスを提供し、地域住民の健康で豊かな生活に貢献します。
- 2、利用者さまの尊厳と権利の尊重・・・利用される方々の尊厳と権利を尊重した医療サービスを提供します。
- 3、快適な環境・・・希望をもって豊かな生活を送ることができる環境づくりをめざします。
- 4、チーム医療・・・全人的・総合的最善の医療サービスを提供する為に「チーム医療」を実践します。
- 5、豊かな専門性・・・スタッフの人格形成はもとより、高度な専門知識の習得や技術の向上に努めます。

# 卷頭言 「新年度を迎えて」

悠紀会病院 院長 古森 顕一



令和4年度がスタートしました。

年度が変わる時はいつも慌しく、そして気が引き締まるのですが、我々悠紀会病院におきましては、とりわけ今回は大きく違った新年度となりました。今号では、その理由となる出来事と新年度にかける気持ちについてご報告いたします。

まずは、これまで介護療養型医療施設(以下、介護病棟)として運営しておりました病棟を3月より医療療養病棟に転換いたしました。介護病棟としての廃止期限が迫る中で、当院が目指す医療と地域のニーズを念頭に協議を重ねながら準備をしてまいりました。対象となる患者様像や入院・転院に関するお問い合わせにつきましては、次ページをご参照いただければ幸いです。

そしてもう1つ、当院では3回目となる「病院機能評価」の訪問審査を3月中旬に受けました。2回目の時は熊本地震の影響で延期となり、今回はコロナ禍の中で心配もありましたが無事に終えることができました。審査結果の報告はまだ先ですが、改めて医療機関としての質の向上に取り組む意識が高まったと感じております。

同じ時期に、これら大きな事業に取り組んだスタッフは大変だったと思いますが、大切なことは日々の継続と改善です。地域に根ざす医療機関として、更に前進し向上していく気持ちが全スタッフと共有できたことが何より良かったと思います。

新年度となり、改めて地域の皆様に必要とされ、充実したサービスが提供できるよう取り組んで参りますので、今後とも変わらぬご指導とご協力を重ねてお願ひいたします。

## 悠紀会病院・介護医療院ゆうきの里 新任および病棟師長のご紹介



副院長  
井手 正美



事務部・部長  
久保 茂樹



医療療養病棟(4階)  
師長  
石井 信子



医療療養病棟(3階)  
師長  
磯野 富美



回復期  
リハビリテーション病棟  
師長  
原 由美



介護医療院ゆうきの里  
師長  
前田 弘子

# 医療療養病棟への転換のお知らせ

当院では、以前より運営しておりました介護療養型医療施設(57床)につきまして、令和4年3月1日付けで医療療養病棟(入院基本料1)に転換いたしました。



## 施設基準

① 看護配置 20:1以上

② 医療区分2・3の割合が8割以上

### 令和4年3月現在の 悠紀会病院病棟構成

- 2階:回復期リハビリテーション病棟(32床)
- 3階:医療療養病棟(50床) ※介護医療院ゆうきの里(54床)が3階に隣接
- 4階:医療療養病棟(57床) (医療療養病棟の合計:107床)

医療療養病棟は、急性期の治療を終えても引き続き医療提供の必要度が高く、病院での療養が継続的に必要な患者様を対象にご利用いただく医療保険適用の病棟となります。

医師・看護職員・リハビリテーションスタッフ・介護職員・医療ソーシャルワーカー・薬剤師・管理栄養士等の専門職が患者様とご家族に寄り添って療養や退院に向けたサポートをいたします。

## 当病棟での対応が可能な疾患・状態・処置等について(例)

### 対象疾患

- スモン、筋ジストロフィー、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病などの神経難病
- 脊髄損傷、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、悪性腫瘍の疼痛コントロール、肺炎、尿路感染症など

### 対象となる状態

- 医師、看護師により常時観察や管理が必要な状態
- 中心静脈栄養、24時間持続点滴が必要な状態
- 気管切開(発熱を伴う)の状態
- 酸素療法(酸素吸入)が必要な状態
- 肺炎や尿路感染症に対する治療
- 傷病(骨折や脳血管疾患等)によるリハビリテーションが必要な疾患が発症してから30日以内
- 発熱を伴う脱水や頻回の嘔吐や発熱を伴う状態
- 褥瘡(床ずれ)の処置が必要な状態
- 1日に8回以上で喀痰の吸引を行う状態
- 糖尿病による頻回(1日6回程度)の血糖検査、インスリン等の管理
- 経管栄養(経鼻、胃管、胃ろう・腸ろう)が行われており、発熱や嘔吐を伴う状態
- 人工肛門(ストーマ)管理、バルーンカテーテル管理
- 皮膚潰瘍または足の蜂巣炎、膿などの感染症に対する治療を実施する状態
- 悪性腫瘍等を含む、看取りを行う状態
- その他、脳血管疾患による後遺症、糖尿病や肺炎後の療養が必要な状態

対象疾患・状態に関する詳細、空床情報等につきましては、下記窓口までお問い合わせください。

《お問い合わせ》 地域連携室 0968-74-1131

# 令和3年度 入職者一覧

令和3年度中に入職した悠紀会病院・介護医療院ゆうきの里のスタッフをご紹介します。

**患者様・地域のためにこれからも元気に頑張ります!**



丸山 哲哉 作業療法士



米崎 朱梨 看護師



早野 剛志 作業療法士



大村 和美 看護師



打越 沙弥香 看護師



大池 清加 看護師



藤屋 龍彦 看護師



徳永 千春 看護師



竹下 英里 事務職員



東 幸子 看護師



米盛 宙香 看護師



松藤 ゆり 看護師

※同意を得た職員のみ掲載しています(掲載は入職日順)。

# ・医療法人悠紀会からのお知らせ・

## 病院機能評価 令和4年3月17日(木)・18日(金)

3月17日(木)・18日(金)にかけて受審しました。

コロナ禍で、密を避けながらの対応となりましたが、緊張の中にも時には和やかな雰囲気で日頃の取り組みについて説明しました。

改めてこれからも質の向上に努めたいと思います。



## 新年度オリエンテーション

令和4年4月1日(金)・4日(月)・5日(火)

令和4年度の最初の行事となる、新年度オリエンテーションが開催されました。

新入職員を中心として、3日間にわたり様々な説明と講義や体験、時には和やかなレクリエーションも含めた研修です。

開始当初は緊張した表情でも段々と笑顔になり、終了後は各々の所属で実践していくこととなります。



## 診療実績のご報告



## 外来診療担当医表

診療時間【午前9:00～午前12:00(受付午前11:30まで)、午後1:30～午後5:00(受付午後4:30まで)】

診療科	月	火	水	木	金
内科	紫藤 忠博	高木 和男	松村 利昭	高木 昭宏 ・ 紫藤 忠博	
循環器内科			古森 順一		古森 順一
リハビリテーション科		伊勢 純平 (整形外科)			山崎 裕子
脳神経内科		井手 正美	井手 正美		

## 診療科

- 内科 ●リハビリテーション科 ●循環器内科 ●脳神経内科 ●呼吸器科
- 消化器科 ●歯科(予約制)

## 相談、その他

- 外来・訪問リハビリテーション相談
- 摂食嚥下相談
- 整形外科相談

## 病棟構成

入院病床数 139床

回復期リハビリテーション病棟	32床
医療療養病棟(3階)	50床
医療療養病棟(4階)	57床

## 診療設備

- マルチスライスCT撮影装置
- X線テレビ装置
- 一般用X線装置
- PACS(医用画像管理システム)
- 超音波診断装置
- 心電図モニター
- 生化学自動分析装置
- 感染症遺伝子解析装置

## 関連事業所

- ◆訪問リハビリテーション 悠紀会病院
- ◆介護医療院 ゆうきの里
- ◆介護老人保健施設 ゆうきの里  
ゆうきの里 通所リハビリテーション  
介護相談センター ゆうきの里(居宅介護支援)
- ◆グループホーム ゆうきの家
- ◆小規模多機能ホーム ライフサポートいわさき
- ◆小規模多機能ホーム しいの木の里(山鹿市)
- ◆社会福祉法人ゆうき会  
特別養護老人ホーム ケアタウン光の森(菊陽町)

## アクセス



〒865-0011

熊本県玉名市上小田1063番地

TEL 0968-74-1131 FAX 0968-74-3821

ホームページ <http://www.yukikai.or.jp>



各種相談については、地域連携室へお尋ねください。

**TEL 0968-74-1131**

※お電話による問い合わせは、月曜日～金曜日の午前9時～午後5時までとなっております。